

I. 広東省

1 馬興瑞・広東省長が兵庫県知事と会見

●25 日、馬興瑞・広東省長が、広東省で行われた第 17 回日本広東経済促進会年次会に参加し、井戸敏三・兵庫県知事と会見した。馬省長は、広東省と兵庫県は、経済・貿易、科学技術、文化、観光、人文等の領域で協力し、ウィンウィンの関係を築きたいと述べた。井戸知事は、更なる友好・協力関係を発展させたいと述べた。会見には、石塚英樹・在広州日本国総領事も同席した（26 日付「南方日報」1 面）。

2 広州モーターショーが閉幕

●25 日、第 16 回広州モーターショーが閉幕し、10 日間で延べ 69 万人が訪れ、昨年よりも 2 万人増加した（26 日付「南方日報」1 面）。

3 広東省鉄道安全管理条例が施行

●1 日、広東省鉄道安全管理条例が施行された。同条例には、高速鉄道などで自身の指定席以外の席に無断で座る行為、鉄道の線路から 500 メートル以内でドローンを飛行させる行為、車両内での電子たばこの喫煙等の禁止が含まれる。違反した企業には 1 万元～5 万元、違反した個人には、500 元～2,000 元の罰金が科される（12 月 1 日「南方日報」5 面）。

II. 広州市

1 広州市に留学帰国者エリアを設立

●29 日、「欧美同学会」（海外留学経験者で組織される団体）は、同団体が主催したフォーラムで、留学帰国者の受け入れエリアとして「欧美同学会（広州）生物医薬小鎮」を広州開発区に設けることを明らかにした。計画によれば、5 万人の留学帰国者を受け入れ、イノベーション人材が集まる新たなプラットフォームを目指すとしている（30 日「広州日報」3 面）。

2 広州市が大気汚染時の交通規制改正案を意見公募

●広州市環境保護局は、2014 年に公布した大気汚染時の交通規制措置の改正案をまとめ、意見公募（パブリックコメント）を開始した。改正案によれば、微小粒子状物質「PM2.5」の 1 立方メートル当たりの平均濃度によって警報レベルが「黄色警報」「オレンジ警報」「赤色警報」の 3 段階に分けられる。黄色警

報が発令された場合には、建設ゴミなどの一部の運送車両が通行禁止となる。オレンジ警報が発令された場合には、黄色警報の措置に加えて、「中型」と「重型」区分のディーゼル貨物車に対して、ナンバープレートの末尾番号による交通規制を実施する。赤色警報が発令された場合には、全ての自動車に対してナンバーの末尾番号による交通規制を実施する。ただし、軍の車両、警察車両、消防車、救急車、路線バス、タクシーは対象外となる（29日付「広州日報」5面）。

Ⅲ. 深セン市

1 南方科技大学の研究者が遺伝子操作した女児の誕生を発表

●26日、賀建奎・南方科技大学准教授は、遺伝子操作により、HIVウイルスに耐性をもつ双子の女児を誕生させることに成功したと発表した（27日付「南方日報」12面）。

※後日、国家卫生健康委員会はこの問題を重視し、広東省卫生健康委員会に対し、「国民の健康に責任を持ち、科学を原則とし、法に基づいて処理し、調査結果を直ちに公表するように」と指示を出し、広東省健康衛生委員会が調査を開始した。

※南方科技大学は、「賀建奎氏は今年2月1日から休職中であり、研究は校外で行われ、同氏は学校にも生物学部にも本件を報告していないので、大学も生物学部も承知していない」とする声明を発表している。

Ⅳ. 福建省

（特になし）

Ⅴ. 広西チワン族自治区

（特になし）

Ⅵ. 海南省

1. 劉賜貴・海南省党書記が武維華・全人代常務委員会副委員長と会見

●25日、劉賜貴・海南省党書記は、海南省を視察中の武維華・全人代常務委員会副委員長兼九三学社中央委員会主席と会見した。武維華・副委員長は、「海南省は戦略的に重要な地域である。全島自由貿易試験区と中国の特色ある自由貿易港設立に大きな関心が集まっている」と述べた（26日付「海南日報」1面）。

（了）